

群馬県鉱工業指数 令和7年9月分

1. 公表内容

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業などが上昇したことから、2か月ぶりのプラスとなった。

○概況

生産、在庫は上昇、出荷は低下で推移

◆9月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年＝100）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生産	137.8	28.7	2か月ぶり＋	136.6	▲0.4	3か月ぶり－
出荷	94.5	▲0.7	3か月連続－	100.0	▲10.7	3か月連続－
在庫	207.7	15.3	3か月連続＋	195.0	17.3	6か月連続＋
在庫率	170.1	▲1.4		163.4	24.4	

○生産指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのプラス、原指数で、3か月ぶりのマイナスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、3か月連続のマイナス、原指数で、3か月連続のマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、3か月連続のプラス、原指数で、6か月連続のプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>上昇：化学工業（127.7%）、輸送機械工業（13.8%）

<出荷>低下：業務用機械工業（▲45.9%）、生産用機械工業（▲17.1%）

<在庫>上昇：化学工業（29.5%）、生産用機械工業（6.6%）

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇：化学工業（127.7%）／低下：業務用機械工業（▲59.9%）

<出荷>上昇：木材・木製品工業（43.6%）／低下：業務用機械工業（▲45.9%）

<在庫>上昇：輸送機械工業（107.8%）／低下：情報通信機械工業（▲43.3%）

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動（季節変動）を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和7年12月末（令和7年10月分）

令和7年9月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

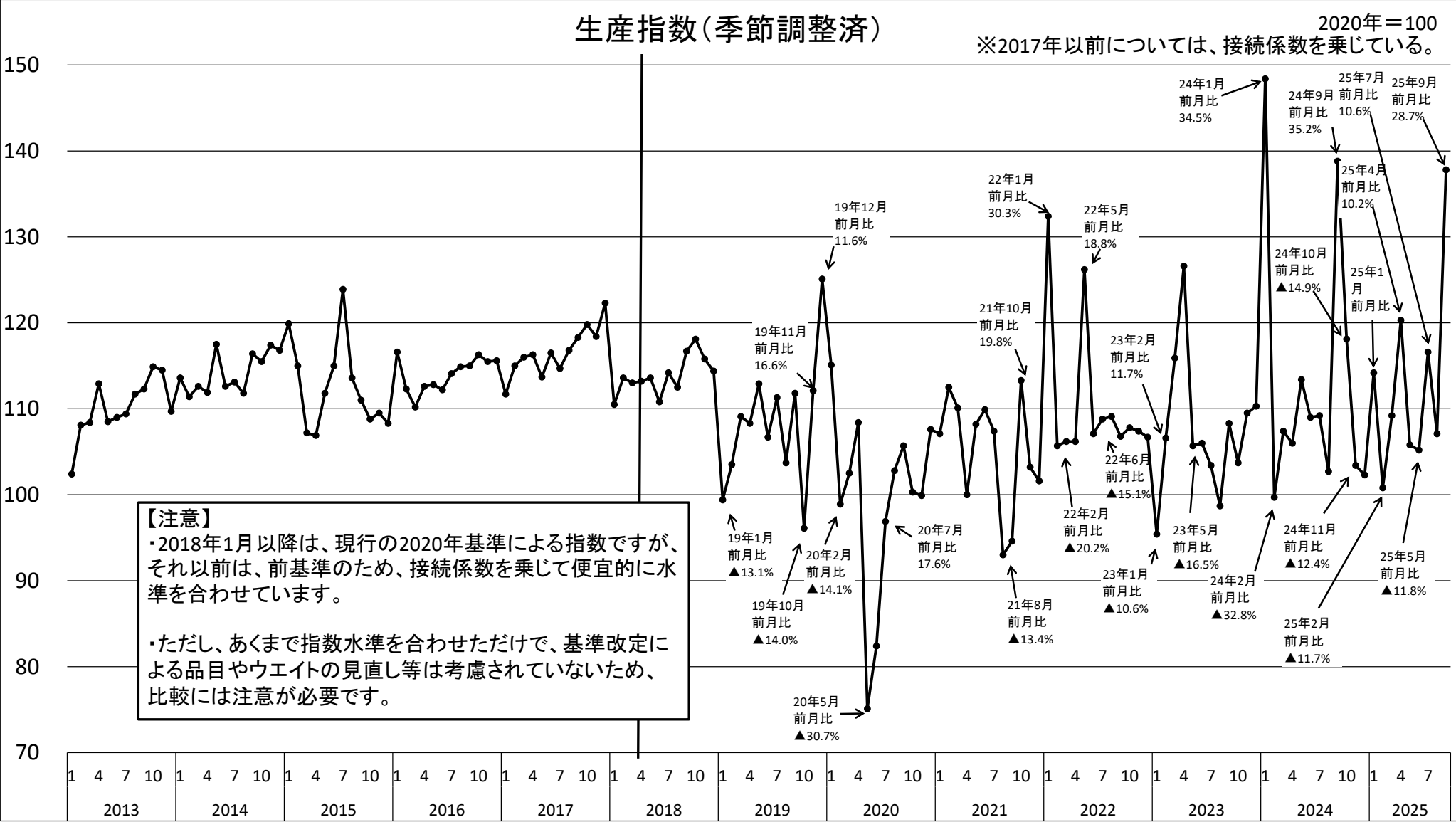
		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生産	上昇	化学工業	31.3	127.7	医薬品製剤	
		輸送機械工業	2.5	13.8	普通乗用車	シート
		電気機械工業	1.5	15.2	半導体・IC測定器	
		プラスチック製品工業	1.2	18.3	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製シート
		食料品工業	0.7	4.6	菓子	めん類
	低下	業務用機械工業	▲ 2.9	▲ 59.9	娯楽機器	
		生産用機械工業	▲ 0.7	▲ 18.9	金型	研削盤
出荷	上昇	食料品工業	0.8	5.0	菓子	めん類
		電気機械工業	0.5	6.2	半導体・IC測定器	
		金属製品工業	0.3	8.4	スチール・ステンレス製建具	アルミニウム製建具
		プラスチック製品工業	0.3	5.4	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製日用品・雑貨
	低下	業務用機械工業	▲ 2.8	▲ 45.9	娯楽機器	
		生産用機械工業	▲ 0.6	▲ 17.1	金型	整地機械
		化学工業	▲ 0.3	▲ 3.1	合成洗剤	医薬品製剤
		輸送機械工業	▲ 0.3	▲ 0.8	自動変速装置	ワイパー
在庫	上昇	化学工業	15.4	29.5	医薬品製剤	
		生産用機械工業	0.6	6.6	研削盤	ショベル系掘削機械
	低下	情報通信機械工業	▲ 0.3	▲ 43.3	ボタン電話装置	
		その他製品工業	▲ 0.2	▲ 29.0	マーキングペン	ボールペン

(注) 寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生産	上昇	化学工業	31.3	127.7	医薬品製剤
	低下	業務用機械工業	▲ 2.9	▲ 59.9	娯楽機器
出荷	上昇	木材・木製品工業	0.1	43.6	製材
	低下	業務用機械工業	▲ 2.8	▲ 45.9	娯楽機器
在庫	上昇	輸送機械工業	0.2	107.8	普通乗用車
	低下	情報通信機械工業	▲ 0.3	▲ 43.3	ボタン電話装置

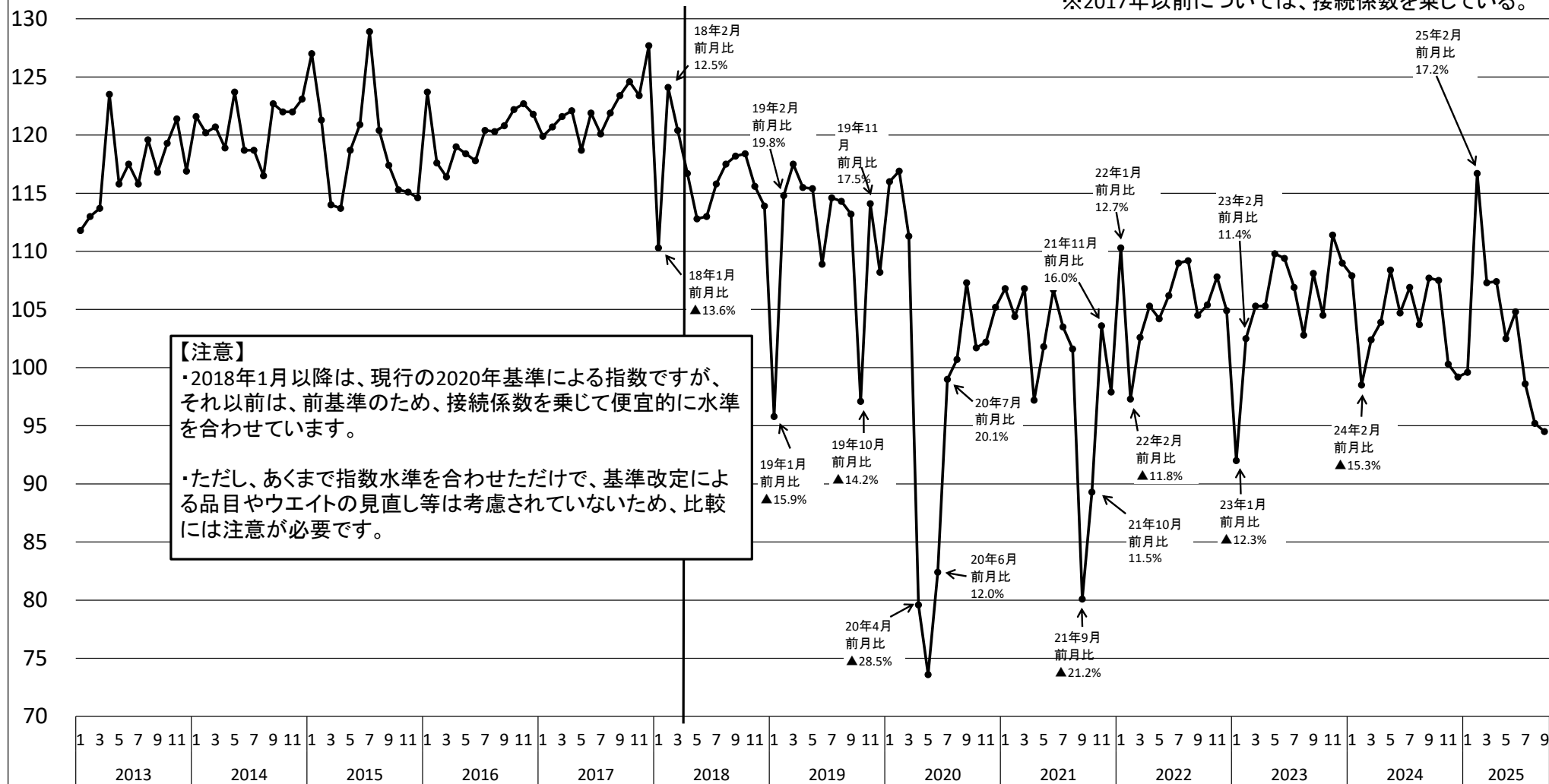
○群馬県鉱工業指数の動き



2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

2020年=100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。

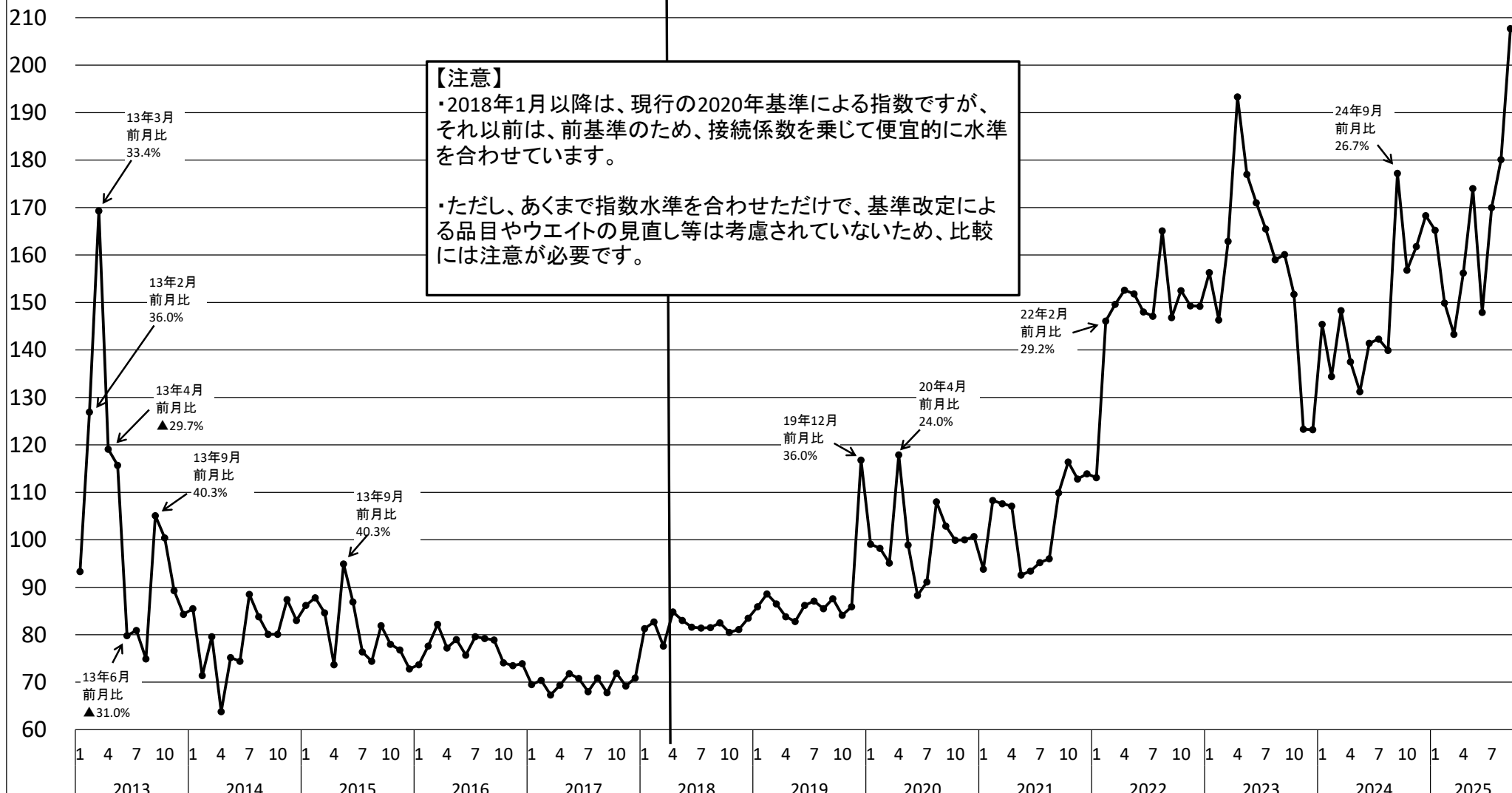


2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年 = 100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。

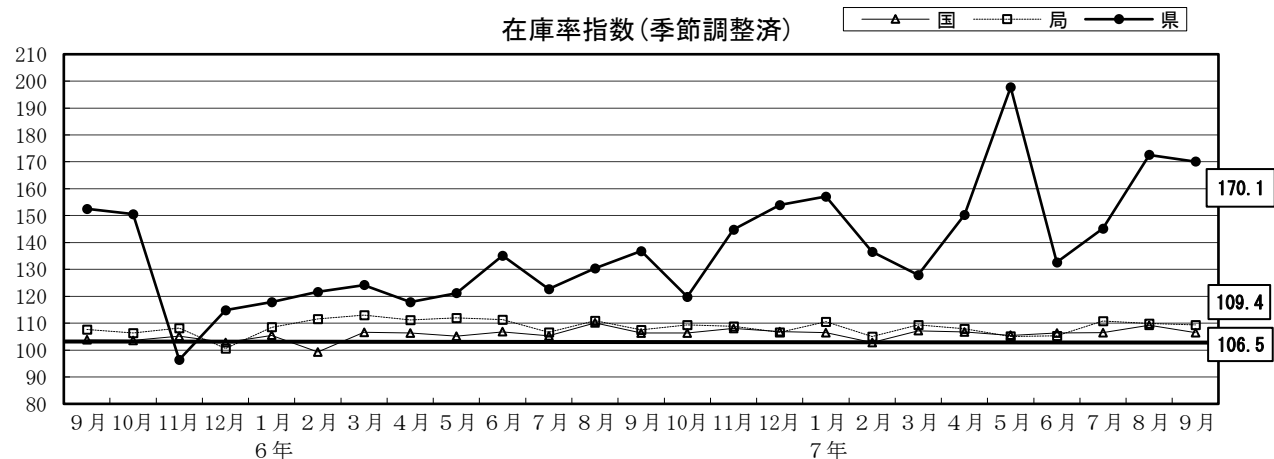
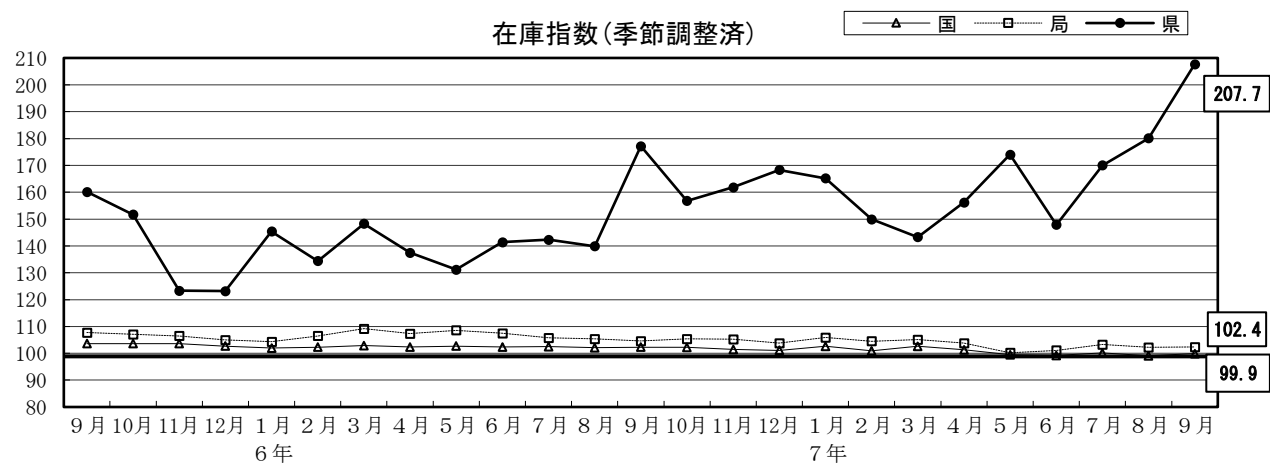
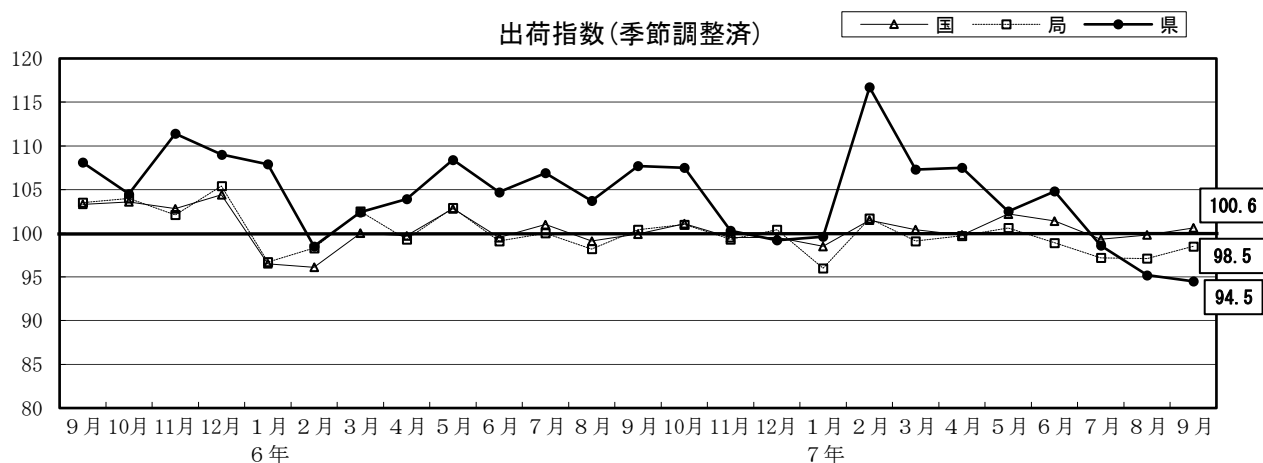
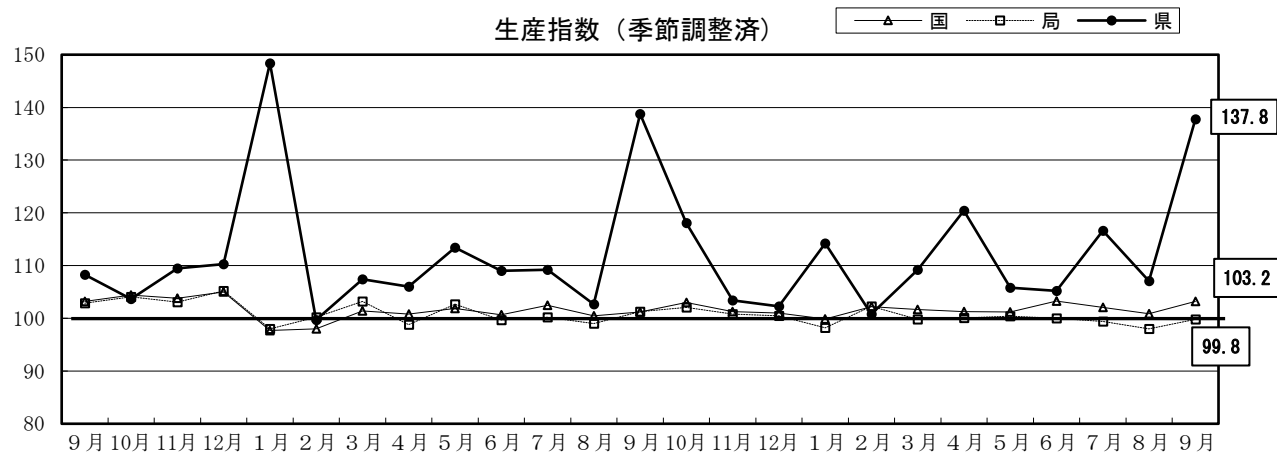


2015年基準: 2013年～2017年 2020年基準: 2018年～2022年 2025年基準: 2023年～2027年(予定)

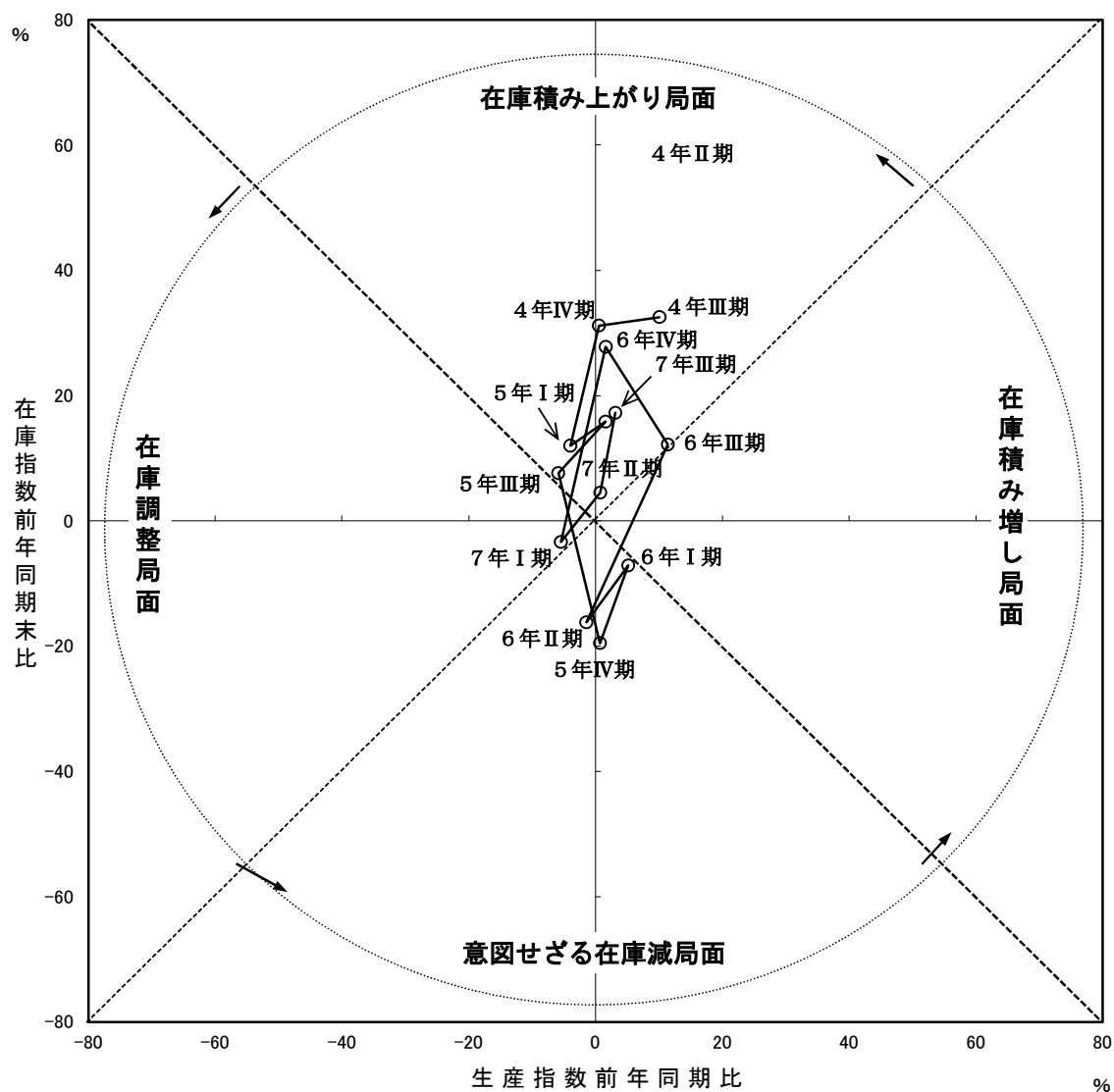
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100



○ 在庫循環図



意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)	需要が回復し、出荷が増加し始めるが、生産は停滞しており、在庫は減少する。
在庫積み増し局面 (景気拡大期)	生産、出荷ともに好調に推移し、減少していた在庫も積み増しされる。
在庫積み上がり局面 (景気後退初期)	生産に比べ、出荷が減少し始め、在庫が積み上がる。
在庫調整局面 (景気後退期)	生産を調整することによって、在庫が減少する。